

令和7年度行政評価 施策評価シート (令和6年度実績)

施策名 安全で適切な廃棄物処理の推進

施策コード 5050301

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 環境衛生課
関係課	

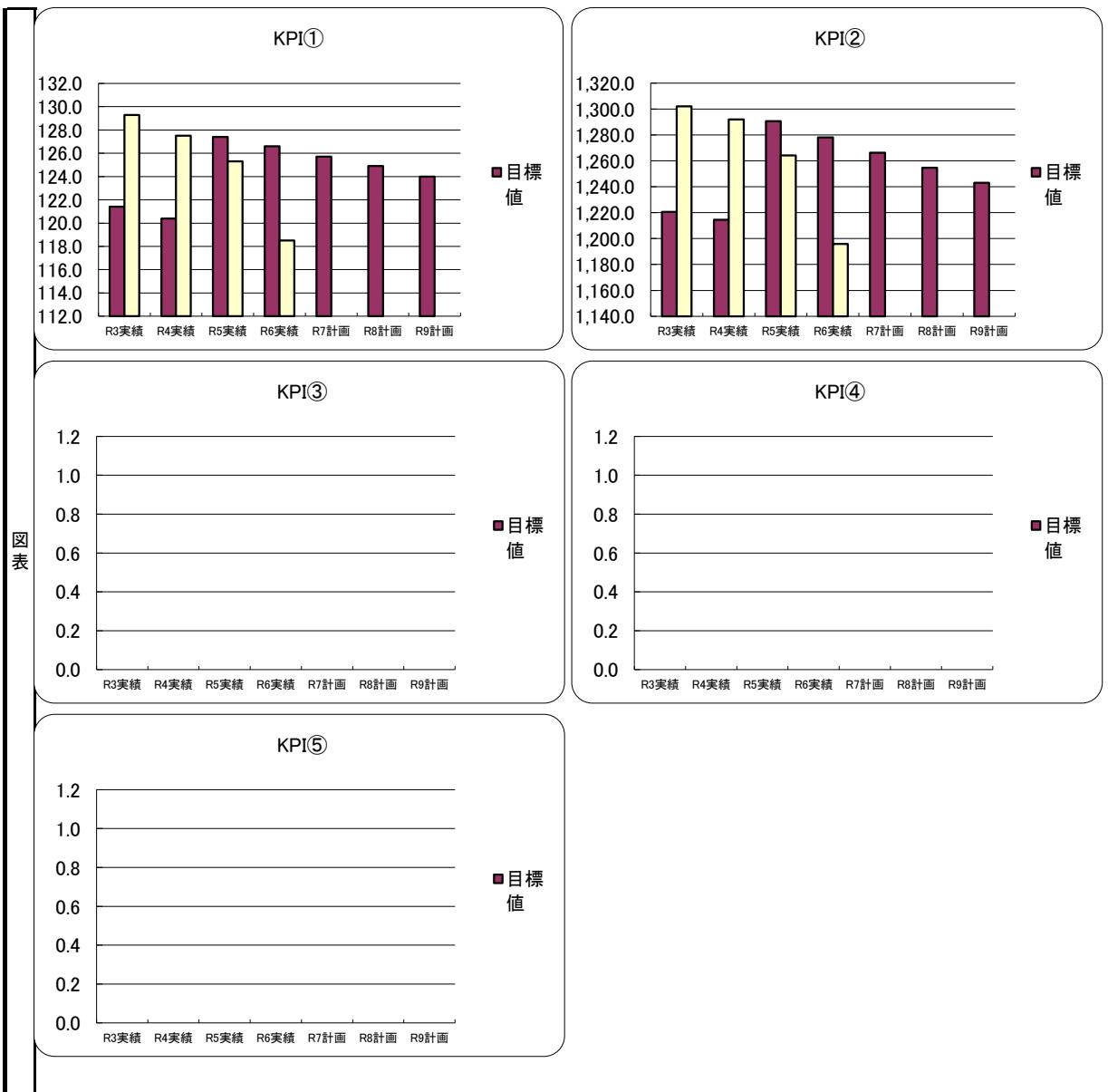
2. 総合計画における位置づけ				
総合計画	政策	第5章 安全でひとと環境にやさしいまちづくり（安全・防災・環境）	節	第3節 廃棄物処理
	施策	安全で適切な廃棄物処理の推進		
基本方針				
・泉佐野市田尻町清掃施設組合などの関係機関と連携し、ごみ焼却施設及び屎尿処理施設の整備を図るとともに、ごみの排出量増加の抑制、より安全で適切な廃棄物処理を推進します。				

現況と課題	
・廃棄物の収集運搬、中間処理や最終処分について、環境への負荷を低減しながら、適正且つ安定的に行なうことが求められています。また、新たな廃棄物中間処理施設建設設計画を推進しつつ、新施設完成までの間、老朽化が進んでいる現在の廃棄物中間処理施設の維持、整備を図る必要があります。	
施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民及び事業所	
意図（どのような状態にしたいのか）	
ごみやし尿の適正処理を通して、安全で快適な生活環境の実現を目指します。	

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	65.3	65.3					
重要度（偏差値）	61.1	61.1					

4. 施策にかかるコスト							
	単位	R5決算	R6決算				
コストの内訳	千円	0	0				
		0	0				
		0	0				
財源内訳	千円						
		0	0				
		0	0				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		1日当たりのごみの排出量					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	121.4	120.4	127.4	126.6	125.7	124.9	124.0
実績値	129.3	127.5	125.3	118.5			
達成度	93.9	94.4	101.7	106.8			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
ごみの排出量を把握することで、ごみの減量化や、ごみ処理施設の方向性がわかります。 ごみ量はHP公開数値を使用。		「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成17年11月）」の各年度のごみ排出量を基本に平成19年度の実績比率を乗じて算出。 平成26年度から平成30年度は「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成26年3月）」の数値で算出。 令和元年度以降は「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成30年3月）」の数値で算出。		家庭ごみについては、市民の分別収集やリサイクルに対する理解が進み、ご協力を得られている。新たに本人確認を実施したことにより、事業系ごみの直接搬入量が減少に転じており、達成率は上昇している。			
② KPI 2		市民1人一日当たりのごみの排出量					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	1,220.6	1,214.6	1,290.7	1,278.1	1,266.3	1,254.6	1,243.0
実績値	1,302.1	1,292.0	1,264.3	1,195.8			
達成度	93.7	94.0	102.1	106.9			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民1人あたりのごみ排出量を把握することで、より詳細にごみの減量化等の実態がわかります。 ごみ量はHP公開数値を、人口は当該年度4月1日の人口を使用。		指標「ごみの排出量(t/日)」を、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成17年11月）に設定の人口で除した数値を目標に設定。 平成26年度から平成30年度は「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成26年3月）」の数値で算出。 令和元年度以降は「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成30年3月）」の数値で算出。		家庭ごみについては、市民の分別収集やリサイクルに対する理解が進み、ご協力を得られている。新たに本人確認を実施したことにより、事業系ごみの直接搬入量が減少に転じており、達成率は上昇している。			
③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	平成18年度からごみ袋の有料化、平成20年度から容器包装プラスチックの再資源化を実施した。近隣の市町でも有料化等が進んでいる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	市民アンケートより、重要度が高いことから、ニーズが高い施策である。容器包装プラスチック類の出し方については複雑な部分もあるため、依然問合せが寄せられている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	廃棄物処理を取り巻く状況は、減量化・リサイクルを優先するシステムへ、循環型社会への転換を求められており、「循環型社会形成推進基本法」をはじめとする各種リサイクル法の制定・整備が行われている。
	合計点	(10点中) 10点	
	総合評価	A	引き続き適切な再資源化に努める
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		A	満足度・重要度ともに高い水準であり、KPIも達成しており、施策としての完成度が高い状況である。引き続き、既存活動の維持に努められたい。
三次評価 (理事者による評価)			

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名		人件費	事業費	一般財源		
1	01030700	ごみ収集事業					B
合計			0	0	0	0	

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)